

#09b_わたかノ～望海～

◆…望海

- ◆ 「えっと…その…」
- ◆ 「これは、現実なのですよね？」
- ◆ 「あなたは、本当に私を選んでくれた…んですよね？」

- ◆ 「す、すみません…なんだかまだ実感が湧かなくて…」
- ◆ 「あなたに選んでもらった喜びよりも、驚きの方が強いんです」

- ◆ 「すう～、はあ～すう～、はあ～ふう…よし」

- ◆ 「ふふ、段々と実感が湧いてきました。…ふう」
- ◆ 「ご、ごめんなさい…思わず涙が…」

- ◆ 「いけませんね。本を読んでいる時とかも
感動しちゃうとすぐに涙が出てしまうんです。私」
- ◆ 「でも、私達はこれで晴れて恋人同士になれたのですね」

- ◆ 「いえ、元から私があなたの本当の恋人ではあったのですが、
改めてというか…なんというか…」
- ◆ 「でも選んでもらえて…とても、とても…嬉しいです」
- ◆ 「ありがとうございます」

- ◆ 「ちゅっ♡」

- ◆ 「ふふ、突然をキスされて、驚きましたか？」
- ◆ 「でも当然のことではないですか。私達は恋人同士なのですから」
- ◆ 「これくらい…ただのスキンシップですよ。スキンシップ」

- ◆ 「すみません…自分で言って恥ずかしくなりました」

- ◆ 「顔が暑いです…私の顔、火照っていないですか？」
- ◆ 「もっと、近くで…見てください」

- ◆ 「ちゅっ♡」
- ◆ 「ふふっ！ ふう…」
- ◆ 「ちゅっ…ちゅっ…ちゅうううつ…！」
- ◆ 「はあ…幸せです。ずっとこの日を迎えるのを、待っていましたから」
- ◆ 「約束していたんです。寧音さんと…」
- ◆ 「キス以上のことをするのは、本物の恋人がどっちか決まってからにしようと」
- ◆ 「なので…こういうことができて、本当に幸せなんです」
- ◆ 「もっともっと、幸せ…噛み締めさせてください」
- ◆ 「んむっ…ちゅっ…ちゅっ…ふうつ♡
ちゅっ…ちゅうつ…ちゅ…んつ…ふつ！
ちゅっ…ちゅうつ…ちゅううう、ちゅっ、ちゅっ…ちゅう♡」
- ◆ 「不思議です。唇が触れ合うだけで、こんなにも幸せで、
気持ちがいい。癖になってしまいそうです」
- ◆ 「ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡
幸せ…んふつ、ちゅう…ちゅう…ちゅうううつ！
んちゅっ…はつ…はつ、んちゅ…ふう…！」
- ◆ 「ちゅうつ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ んふう、んちゅ、ちゅっ♡ ちゅ♡
もっと…ひてください…んふつ♡ ちゅ、ちゅ♡ ちゅうううう…！」
- ◆ 「もっと…もっと…♡」
- ◆ 「ちゅっ、はふつ、ちゅう♡ ちゅつ、ちゅつ、ちゅつ♡
んふ、あう、ふう♡ はあ…ちゅうつ、ちゅつ！ ちゅううつ！」
- ◆ 「好きです…大好きです…♡」
- ◆ 「はあ♡ はあ♡ もう、我慢できません。はあむう♡」
- ◆ 「んちゅっ…♡ ちゅつ！ んちゅちゅうつ♡ はむつ♡
んれろ…れろれろ♡ ちゅつ♡ んじゅちゅ…♡ んふつ♡
あうつ、ちゅっ…ちゅうう！ じゅりゅ♡ じゅちゅう♡」

- ◆ 「んちゅつ♡ んふつ♡ ちゅつ♡ れろれりゅ♡
はふつ、はあ…んふつ、はむつ、ちゅう、んじゅ、れろれろ…
んちゅ、んんふつ、れろ、れりゅ、れろろ…♡」
- ◆ 「突然すみません。ついつい…舌を挿れてしまいました」
- ◆ 「私だって、こういうことをしたい欲はあるんです」
- ◆ 「あなたと、ずっとずっと…こうしたかったんですから」
- ◆ 「だから、もっと…もっと、やらせてください」
- ◆ 「本で得た知識ではありますが、知識はありますから！
後悔はさせませんよ？」
- ◆ 「はむつ♡ んじゅりゅりゅ…♡ はうつ、んふつ♡
れろ、れろれろ…♡ れりゅれりゅ…んふ♡ はうつ！
んふつ、れろれろ、ちゅうううつ！ んちゅつ、ちゅぶつ、ちゅつ！」
- ◆ 「ちゅううううつ！ んちゅ、ちゅるりゅ！ あん♡ はうつ♡ うう♡
んふつ、れるろ、りゅりゅつ、ちゅぷあつ♡ んちゅ、ちゅううう♡
はうつ、んふつ…ふう♡」
- ◆ 「ん、ふつ…んんつ♡ ふはあつ…」
- ◆ 「はあ…はあ…いけません。私…とても感じてしまっています」
- ◆ 「こんな風になるなんて…これがキスの魔力なんでしょうか？」
- ◆ 「胸もこんなに高鳴って…でも、これも本物の恋人同士だから…ですよね。
きっと」
- ◆ 「どうぞ、触ってください。柔らかさは、ご存知でしょう？」
- ◆ 「胸をもみながらのキスをしたら、
もっともっと気持ちよくなれると思いますよ？」
- ◆ 「まあそれは…私もなんですが。はあむつ…！」
- ◆ 「んふつ、ふうつ！ んんつ！ んちゅつ、んんつ！ ふうつ♡
んれり、んちゅつ♡ んふつ、ふう、んりゅ、んんつ！
ちゅうつぬちゅつ！ ああ♡ んんつ、ふう…
れろ、れろ…んちゅつ、ちゅうつ！」

- ◆ 「いいれすよお…その調子ですう♡ んちゅつ、ちゅうつ！ ちゅうつ！
ちゅりゅりゅりゅりゅりゅ！ ぷはあつ♡ んじゅりゅ、はう♡
んれろ、れろ…んちゅ、りゅりゅ…んちゅううううつ！」
- ◆ 「ふふ…やはり胸を触りながらだとさらに興奮できるようですね」
- ◆ 「私も触れられていると…その性的快感を覚えると言いますか…
さらに気持ちが乗ってきてしまいしますね」
- ◆ 「ですので…さらに興奮することを、しませんか？」
- ◆ 「ええ、おそらく…あなたの想像している通りのことです」
- ◆ 「セックス…ですよ」
- ◆ 「ほら、恋人同士なのですから、やることに不自然な点はありませんし。
私の状態から、前戯も必要ありません」
- ◆ 「なんて…すみません、思わず前のめりになってしまいました」
- ◆ 「ただ、私がしたいだけなんです。あなたと、繋がりたいんです」
- ◆ 「だって、私は…あなたが好きですから。それに、あなたの恋人なのですから」
- ◆ 「ですから…しましょ？」
- ◆ 「ふふ、あなたなら…きっと私の願いを叶えてくれると思いました」
- ◆ 「おちんちん、こんなに大きくしてもらって、嬉しいです♡」
- ◆ 「先程も言ったように、
私は、もうあなたを受け入れる準備はできています。
こんな風になっちゃってますから…」
- ◆ 「では、私の方で挿れてしましますから。あなたはそのままでいてください」
- ◆ 「んつ…♡ ふうつ…んんつ！ はつ…くうう♡」
- ◆ 「くあつ…はあ♡ はいったあ♡ んふつ…んんつ♡
おちんちん…こんな圧迫感を感じるなんて…♡」

- ◆ 「ふふ、初めて…繋がれましたね♡
私の処女を奪ってくれて…ありがとうございます」
- ◆ 「そうです。これは私の…私達の初めてのセックス…です。
今まででは、そういう機会もありませんでしたし…」
- ◆ 「ずっと…ずっと…こういう風になりたかったのですが。
昔の私は、臆病…でしたから」
- ◆ 「そういった意味では、こういう機会を得られたことには、
感謝しないといけませんねんね♡」
- ◆ 「はふつ♡ んんっ、ふう…ふう…動くのは少しだけ待ってくださいね。
まだ、私のおまんこが、あなたの形に慣れていないようなので」
- ◆ 「それまでは、こうやって…はあむつ♡」
- ◆ 「はむつ…ちゅう、ちゅつ、ちゅつ！ んちゅつ！ ちゅつ！ ちゅつ！
ちゅううううつ！ んじゅつ、ちゅ！ ちゅりゅ、んちゅりゅりゅりゅりゅ！
んふつ！ はあはあ…はふつ、んつ、ちゅううつ♡」
- ◆ 「んっ…はあはあ♡ ふふ、キスをしたらまた大きくなった♡」
- ◆ 「そろそろ、私のおまんこも準備ができたようですし…動いてみますか？」
- ◆ 「あなた的好きなように、気持ちよくなるように…
私の体を、貪ってください。んっ…！」
- ◆ 「んんっ！ ふうつ、あふつ！ ああつ！ ああん♡
あうう…ふうつ、ふつ、んふつ、んんっ！ あううつ！」
- ◆ 「すご…激し、激しいですうつ！ ああつ！
いいですよっ…私の気持ちいいところにもたくさん当たってますうつ！
んふつ、んんっ、あうつ、ふうう…♡」

- ◆ 「あえっ！ んんっ！ あんっ…あううつ！ はあっ♡
ドチュン、ドチュンって、突かれるたびにいつ…んんっ！
頭にはばちゅんっ、ばちゅんっ！ って気持ちいいのが響いて…！」
- ◆ 「んつ…ふうううつ！ はうつ、あああつ！ あんっ！
んつ、ふうう、はっはっはっはあつ♡ あえつ…んんふうつ！
はあつ、んふつ、んんっ…くううつ！ あんんっ♡」
- ◆ 「あつ、あつ、あつ♡ はあ、はあつ♡
少し時間を置いたからでしょうか？
おちんちんとおまんこが密着したから…ぎゅぼぎゅぼ♡
ぎゅつぎゅつ♡ ってなってえ…！」
- ◆ 「あつ、気持ちいい！ 気持いい！ 気持いい！
んつ、んあつ、ふああああああ～～～つ！」
- ◆ 「はあつ、はあつ…ご、ごめんなさい…先に絶頂…してしまいましたあつ！
んんつ、ふうつ、んんんつ！」
- ◆ 「あなたのおちんちんが気持ちよすぎて…
いいところをたくさんついてくるからっ♡
我慢…できません、でしたあつ♡ あつ♡ あつ♡ あつ♡」
- ◆ 「ああつ、らめ、らめですう♡ また、イクうううつ！
んああつ…ああつ！ んふううううつ！」
- ◆ 「はあつ！ はあつ！ んつ！ んふうつ！
こっち、こっちを見てくださいいっ！」
- ◆ 「はあむつ♡ はんつ♡ はうつ♡ んちゅつ、んんんつ！ んふうつ♡
んれろ、んちゅ、ちゅぶちゅうつ♡ んじゅりゅ♡ はうつん♡
はあ、はあ…♡ はふうつ、んちゅ、ちゅう♡ ちゅううつ♡」
- ◆ 「キス…きす…きしゅ、好きれすう…♡
イキながらのキス…気持ちよすぎて…んんつ！
またあつ…ああああつ♡」

- ◆ 「あなたも、気持ちいいですよねえっ♡
柔らかいおっぱいを押しつけられながら、
いやらしいキスをしてつ…セックスをするのつ…んふつ！ んんつ♡」
- ◆ 「2人で、どこまでも気持ちよく…気持ちよくなりましょう？
いっぱいいっぱい気持ちよくなつて、
訳がわからなくなるくらいになってえ…！
最後に最高の絶頂を、迎えましょう♡」
- ◆ 「ですから、出す時はぜひ…私の膣内に、お精子を注いでくださいっ♡」
- ◆ 「んふ、ふうう♡ え、遠慮♡ 遠慮はいりませんからね？
元からこの体はあなたのためのものなんですから♡
あなたのドロドロ白濁液で、
私の膣内にねっとりと種付けしてくださいっ！」
- ◆ 「それが1番、んんつ！ あなたにとってもおっ！ んんふ！
気持ちのいい射精になるはず…ですからあ！
んんつ！ んあつ！ ああつ！ あふつ！ んんんつ♡」
- ◆ 「どうぞ、私はいつでも…受け入れますっ…からあつ！
出してくださいなあつ！ んんつ！ はっ♡ はっ♡ はっ♡」
- ◆ 「はっ♡ はっ♡ はっ♡ 速くなつてえつ♡
そろそろ、出そう…なんですねえ♡」
- ◆ 「くださいっ！ くださいっ！ くださいいいいっ！
あなたのお精子を、私のおまんこの1番に…！
はあ♡ はあ♡ はあん♡」
- ◆ 「はあつ！ んんつ！ ふう一つ♡ ふう一つ♡ ふう一つ♡
んんつ♡ はふうつ♡ あつ♡ あつ♡ あつ♡ あつ♡
はうつ、んんんんんつ！」
- ◆ 「出して♡ 出して♡ 出して♡
私の絶頂痙攣中の子宮にい、あなたの精子をドバドバ出してえつ♡」

- ◆ 「はうつ♡ 私の子宮をあなたので満たして…はあ♡
カップル成立記念のお、膣内お射精をおつ♡ してえくださあい♡
んむつ、んんんつ！ ほら♡ ほら♡ ほら♡ ほらあつ♡」
- ◆ 「あああつ！ わ、私も…大きいのがっ…んんつ♡ きてますっ…からあつ♡」
- ◆ 「ああ、ごめんなさい！ ごめんなさいい♡ もう…限界れすうつ♡
イク♡ イク♡ イッちゃうううう～！」
- ◆ 「ああんつ！ あつあつあつ！ んんつふうつ！ んんつ！ 出る？
あなたもイキそうなんですねえ！ はあ～♡ ふう～♡」
- ◆ 「あつ！ 出たっ…出たあつ！ お腹の奥にビチビチビューって♡
びゅうううう～～～～つ！ んんつ！ びゅうつ！ びゅうつ！
びゅう～～～つ♡」
- ◆ 「あつあつ！ まだ出て…また、イクっんつ♡ はあつ！ ああつ！
んんん～～～♡」
- ◆ 「ああつ…んんつ…はあ♡ はあ♡ はあ♡ ああつ…んつ、ふう…♡」
- ◆ 「たくさん出していただき…ありがとうございます♡
あなたの愛…全身で、感じられました♡ 私今、とっても幸せです♡」
- ◆ 「ふふふ、これで私はあなたの本物の彼女になれましたね♡」
- ◆ 「これからも…ずっとずっと愛し合って、幸せになりましょうね♡
…ちゅつ♡」